

札幌日本大学高等学校同窓会

桜 昂 会



〒061-1102 北広島市西の里565-2 TEL011-375-2611

Sapporo Nihon University High School 公式 Homepage 1999年10月公開

1999年10月、札幌日大高校のホームページが公開される。同窓生の中にも、インターネットを利用している人はたくさんいることと思う。ふと昔を思い出したとき、ネットサーフィンの途中でちよっと寄り道をしてみたら、懐かしい自分に出会えるかもしれない。

http://www.sapporonichidai.ed.jp

各方面から公開が待たれていました札幌日大高校のホームページが、十月一日(予定)に公開されます。開校から十二年目を迎え、卒業生も四千名を越えた札幌日大高校。近年、卒業生や中学校などの教育機関からも、公開の要望がでてい

内・学校生活・部活動・交通アクセス・最新情報など九つのコンテンツに分かれており、生き生きと学校生活を送る在校生の様子を伝えられるよう作成されています。このたびのホームページは、学校紹介のために短期

間で作成されました。今後、より広く札幌日大高校を理解してもらえよう内容を段階的に掲載し、コンテンツも充実させていきたいと思っています。また、最新情報では、学校のホットな話題や告知情報をいち早く掲載する予定です。将来的には、学校の最新情報を受け取るのみならず、同窓生のページを起し、掲示板などを利用して、卒業生の情報交換の場として活用されるようなものに発展させていってほしいと思います。

ここ数年、学校周辺は虹ヶ丘団地造成のため緑の木々が全て伐採され、ちょっと寂しい環境になりましたが、学業面では着実に実績を積み重ね、日本大学への進学をはじめ安定した進学実績を残しています。部活動においても多くの実績を残し、毎年複数の部活動が全国大会に駒を進めています。昨年からは三学期制が二学期制へと移行し、来年度の新生から国際化教育

ました。今公開されるホームページでは、アクセスは、アクセススとしてまず目にするエントリーのデザインに、日大高校の象徴とも言える正面玄関の「ステンドグラス」(思索する心/栗谷川健一)を採用し、また、内容として、施設案内、部活動、交通アクセス、最新情報など九つのコンテンツに分かれており、生き生きと学校生活を送る在校生の様子を伝えられるよう作成されています。このたびのホームページは、学校紹介のために短期

に対応し制服もブレザー型にリニューアルされます。学校は時代とともに少しずつ変わっていきませんが、思い深いこの学舎を築立ち、多くの卒業生が社会の第一線で活躍しています。母校のことがふと気になったりした時は、全国どこからでも是非このホームページにアクセスしてみてください。また、ウェブデザイナーを職業としている卒業生がいましたら、メールで是非連絡をいただきたいと思います。(教諭/福田)



シリーズ 札幌人 第四回

教 員



プロフィール 後藤 容子 3年6組担任 (学年主任) ●国語担当 ●新聞局顧問 開校当時より在任している先生の1人。

「ここで果して三カ月もつだらうか。全道から集まった個性の強い生徒たちに振り回されて、こう初めは思ったのですが、三年は受け持った生徒たちが卒業するまでは頑張らねばと思いつきました。一期生五百人を迎えてスタートしたわが校の日々は本当に大変でした。生徒との接触は良くも悪くも密度の濃いもので、広い職員室にはよ

く生徒達がやってきて話を聞いていたものでした。その反面、思っていた高校像とは違うと不満をもちにぶつてくる生徒もいて、日々生々しいぶつかり合いのあった三年間でした。

その一期生を何と送り出して、四期生を受け持った対面式の部活紹介の時のこと。各部がはつらつと練り広げるパフォーマンスに会場が湧いている時、不意に、一期生には何もなかった、こうやって迎えたもなかった、先輩も部活もなかったのだという思いが胸にこみ上げてきました。重くない自由はあったが、生徒会も部活も勉強(の伝統)もゼロからという大変さが胸に迫ってきたのです。そんな礎の上に今があることを思うと、高校生活に燃えるものがあつてほしい、それが歴史となるのだからと願わずにいられません。

同 窓 生



プロフィール 佐藤 一美 ●7期生 ●札幌国際大学 社会学部社会学科 4年在学中 在学中は放送局に所属し、全国大会で優勝した実績を持つ。

八月一日(日) ちよつと曇り 今日、日大高校へ行つた。放送室へ。三年間毎日通つた重い扉、独特な臭い。今でも昨日のことみたいに覚えていた。それが「予備室」だった場所。新しい放送室ができ、今までの場所は取り壊しになるらしい。というわけで今日、O.B達が集まって最後の戸締りをした。先輩が空けた壁の穴は活動

の軌跡。ふりさる湿度計は放送への熱中度計。棚にまつた脚本は小さな私達の大きな想い。私達の放送はまるで放想だった。そういえば放送室という部屋は、私にとつての教室がそこで、何かにバカになれることのかつこよさを学んだ。あの狭い放送室で。

今日、日大高校へ行つた。放送室へ。三年間毎日通つた重い扉、独特な臭い。今でも昨日のことみたいに覚えていた。それが「予備室」だった場所。新しい放送室ができ、今までの場所は取り壊しになるらしい。というわけで今日、O.B達が集まって最後の戸締りをした。先輩が空けた壁の穴は活動

札幌日大高校のホームページが公開されることになり、卒業してからは、ちよつと遠い存在になっていた母校が、少し身近に感じられるようになるのではないだろうか。来た校したり、電話だったりかると身構えてしまつたのが、メールなら気軽に送れる、そんな気がします。同窓会においても、ホームページを公開することにより、同窓生の交流の場が生まれ、また同窓会としても、生の声を聞けることにより、益々発展していくように思えます。これからの検討課題となり、皆さんからの意見や要望も取り入れたいと思います。何かありましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。

編集委員 鈴木 雅人(一期生) ●加藤 一(二期生) ●中村 美千代(二期生) ●西田 康人(二期生)

編集後記

